

教科名	国語	科目名	国語表現探究	学年	3年	単位数	2
準教科書	国語表現 (大修館書店)		副教材	「準拠ワーク」			

1 担当者からのメッセージ

「国語表現探究」は「話すこと・聞くこと」「書くこと」というコミュニケーションに重点を置いた科目です。主として思考力、判断力、表現力を育成し、実社会において必要となる、他者との多様な関わりの中で伝え合う資質・能力の育成を重視します。この科目で身に付けた力は、小論文や面接だけでなく、人生の様々な場面で生かせるはずです。

2 学習の到達目標

- ・語彙を豊かにし、敬語などの適切な言葉遣いで話したり書いたりすることができる。(知識・理解)
- ・伝える内容を吟味し、構成や伝え方を工夫することができる。(思考力・判断力・表現力)
- ・積極的に話したり書いたりすることができる。(主体的に学習する態度)

3 学習計画

		単元名 (学習項目)	学習内容 (ねらい)
前期	前期	情報の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 ・自分の主張の合理性が伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。
	中間	構成や展開	
	前期	具体例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置する。 ・場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いる。
	期末	資料や機器の活用	
後期	後期	情報を聞き取る	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりする。 ・話の内容に対する共感を伝え、相手の思いや考えを引き出す。 ・聴衆に対してスピーチをする。 ・互いの主張や論拠を吟味し、話し合いの進行や展開をする。
	中間	相手との共感	
	学年	スピーチ	
	末	話し合い	

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、適切な表現をすることができる。	・自分の思いや考えが伝わるよう、話題を決め、論点を明確にし、工夫して表現することができる。	・出席状況 ・積極的に話したり書いたりする態度

5 評価方法

計70時間(50分授業)

上記の観点を踏まえ、確認テストの成績、宿題などの課題、出席状況や学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…30% 思考・判断・表現…40% 主体的に学習に取り組む態度…30%